

ONCC 10期 ぶらっと散策3 第3回探訪

継体天皇ゆかりの地を歩く～樟葉から橋本へ

探訪日：2022年6月9日（木）、時間：集合 9時50分～解散 12時40分

天候：晴れ 参加者：受講生 37名 CA3名 計 41名 ガイド：4名（各班1名）

本日のコースは継体天皇ゆかりの地を歩く、ということで樟葉駅→安養寺→市民の森→交野天神社→樟葉宮跡→楠葉台場跡というルートです。

- (1) スタートに先立ってガイドさんより『樟葉』と『楠葉』の違いについて説明がありました。歴史的な根拠もあって現在では駅と小学校に限って樟葉、その他は楠葉となっているそうです。



無事全員集合 快晴です



- (2) 安養寺 1970年（昭和45年）に府の有形文化財に指定された石製路盤があります。露盤は、雨仕舞の役割を果たす建築部材で、上に宝珠を載せて装飾も兼ねたものですが通常は、青銅、鉄瓦製でこのような石製品は極めて珍しいとのこと。



- (3) 市民の森 枚方市民の憩いの森として市政35年を記念して建設されたそうです。先ず目に入ったのが満開のアジサイの花、そして鏡伝池の花菖蒲、睡蓮も見頃を迎えていました。



花菖蒲、睡蓮が見事でした



ホット一息

- (4) 交野天神社（かたのてんじんしゃ） 延暦6年（787）、桓武天皇が長岡京の南にあるこの地に郊祀壇（こうしだん）を設けて、父である光仁天皇を祀ったのが起源とされています。本殿は一間社流造。臺股（かえるまた）も立派のものでした。



奥に見えるのが本殿です

- (5) 樟葉の宮跡の森（くずはのみやあとのもり） 交野天神社の敷地内にあり枚方八景に選定されています。越前三国から迎えられた男大迹王（おおどのおおきみ）が507年26代継体天皇として即位し5年にわたって宮を営んだとされる場所。奥まった所に貴船神社もありました。



貴船神社

- (6) 樟葉台場跡 設計者は勝海舟。元々は侵入外国船への備えとして造営されたが後に西国尊皇攘夷派の侵入防止へと目的が変更された。また京街道を取り込み関所を設けた。2009年に「国の史跡」、2016年に史跡公園として造成が完了。



本日の行程はここまで。台場跡で解散です。皆さん弁当を持ってきておられましたが暑いので橋本駅近くのスーパーマツモトで食事をされていました。ガイドさんの説明も分かりやすく好天のもと楽しく散策できました。お疲れ様でした。